

勝高だより

岡山県立勝山高等学校 広報誌

平成16年5月14日発行

《第1号》

tel (0867) 44-2628

fax (0867) 44-4730

URL: <http://www.katuyama.okayama-c.ed.jp>

E-mail: katuyama10@pref.okayama.jp

熱戦!! 美作総体

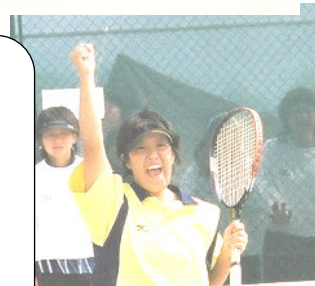
5月8日(土)・9(日)(一部種目除く)に津山市内の会場において第51回美作地区高等学校総合体育大会が行われました。

開会式における行進では、勝校選手団が整然と、元気よく歩き、高い評価をいただきました。

総合成績は男子7位、女子4位でした。各部の結果は以下の通りです。



・サッカー	3位	・ソフトテニス	団体 女子 2位
・卓球	団体 女子 4位	・軟式野球	ベスト 4
・バスケットボール	女子 3位	・バドミントン	団体 男子 3位
・バレーボール	女子 6位		女子 2位
・ワンダーフォーゲル	団体 男子 3位	・陸上	総合 女子 5位
	女子 2位		



「あいさつ運動」実施!!

生徒会本部の提案により、あいさつ運動を実施しました。

学年末(3/15～)と、新学期(4/12～)に昇降口に生徒会役員が立ち、率先してあいさつを行いました。その他にあいさつについてのアンケートを行い勝高生の意識を生徒会新聞にのせるなどの取り組みもしました。あいさつという当たり前のことを改めて見直すきっかけとなりました。



勝高はいまこんなことに取り組んでいます！！

1 年 団

4月8日に入学した1年牛200名は特に目立った欠席などもなく元気に過ごしています。

4月23日には最初の学年行事の「日帰り1日研修」が新見市の備北青年の家で行われました。心配された雨も上がり、野外炊事やレクレーションを楽しみました。この研修ではすべての行事がクラス対抗となっていました。11HRが終始リードしていましたが、最後の校歌で12HRが逆転し優勝しました。優勝した12HRは、賞品として用意されていた「体育館の大掃除」に驚いていましたが、みな喜んで掃除してくれました。クラス作りの研修として有意義な1日だったと思います。美作総体に1年牛ながら出場した者もあり、今は中間テストを前に落ち着いた日々を送っています。

また1年牛対象の海外短期研修（オーストラリアホームステイ）では、現在12名の生徒たちが、ホームステイ先に英文で手紙を書くなどの準備を始めています。若い10代のうちに異国の文化に触れることは後の人生において、きっと貴重な体験になることでしょう。



2 年 団

2年牛は中堅学年として部活動と勉強の両立に努力している生徒が多い反面、少々疲れがたまっている生徒もいる様子です。中間考査最終日に生徒会選挙が行なわれ、9月3日から5日に行われる鼓山祭へ向けて2年中心の新役員が決定する予定です。昨年度から生徒会で活躍している生徒が立候補を予定したり、新しく名乗りを上げる生徒もいて新しい生徒会役員も活発に動いてくれそうです。

学年団としては「毎日面談」を目標にして細かい面談を1年間通して実施中です。

3 年 団

高校生活最後の年となった3年牛は、美作総体でそれぞれ自分の持てる力を発揮しました。部活動も残りわずかとなり、悔いの残らぬように練習にがんばっています。勉強の方でも、毎日落ち着いて授業に、家庭学習に取り組んでいます。また、朝、昼食時、放課後に先生を質問攻めに行っている生徒をそこで見かけるようになり、進路選択の大きな岐路に立っているという自覚を持つ生徒が増えてきたようです。このまま、順調に進学・就職に向けて頑張ってもらいたいものです。

商業科

商業科では将来の社会人としての基礎・基本を学んでいくわけですが、近年の専門学科からの進学率の高まり、景気の低迷による企業の高卒者の採用減から、本校の商業科でも進学者が増加しております。そんな中で、商業科としては進学希望者へは上級資格への挑戦を目標に、簿記では現2年生より習熟度別授業、情報処理分野ではチーム・ティーチングの授業を行い、きめ細かい授業を目標に取り組んでいます。とは申しまでも商業科は専門学科ですので、第

には将来、社会人として生活面・精神面・経済面で自立が出来るように、また自分を囲む社会の現状を認識させながら、生き方やチャレンジ精神を育成すること目標に様々な生徒のニーズに応えていきたいと考えています。

国際・情報コース

国際・情報コースの行事のひとつとして5月21日（金）に国際理解教育講演会を予定しています。講師にはオーストラリア出身のウォード・ジョール氏（岡山県国際交流協会所属）に「オーストラリアと日本」について話を頂きます。オーストラリアの高校、大学で日本語を学び、岡山県に住んで5年というウォード氏の日・豪の文化比較、英語を学ぶコツなどの話が伺えそうです。

進路指導課

進路指導課としては、科・コースの特徴を生かし、各生徒の志望・適性にあった進路を目指しております。生徒には3年間を見通して、今何をしなければならぬかを考え計画性を持った学校生活を送るよう指導しています。進路情報も多く出したいのでご家庭でも御覧いただき話合ってください。